

2023年10月期 第3四半期 IRミーティング資料

2023年9月15日

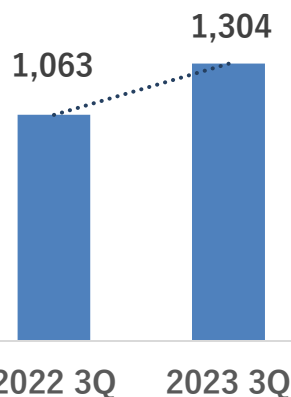
 **クマイ化学工業株式会社**

2023年10月期 第3四半期 実績

(億円)	2022 3Q 実績	2023 3Q 実績	前年比	増減率
売上高	1,063	1,304	+241	+23%
売上総利益	257	302	+45	+18%
営業利益	103	141	+38	+36%
経常利益	162	187	+26	+16%
親会社株主に帰属する四半期純利益	111	145	+34	+31%

参考：平均レート ¥/ドル=125 ¥/ドル=137
 ¥/ユーロ=133 ¥/ユーロ=147

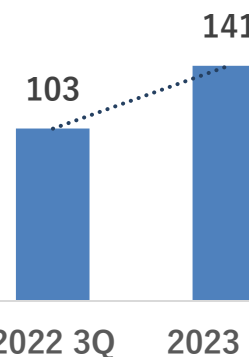
売上高



前年同期比 **+241**億円

- (+) アクシーブの大幅増収 +262億円
- (+) 価格転嫁の実施
- (+) 円安による押し上げ
- (-) 化成品事業の減収

営業利益

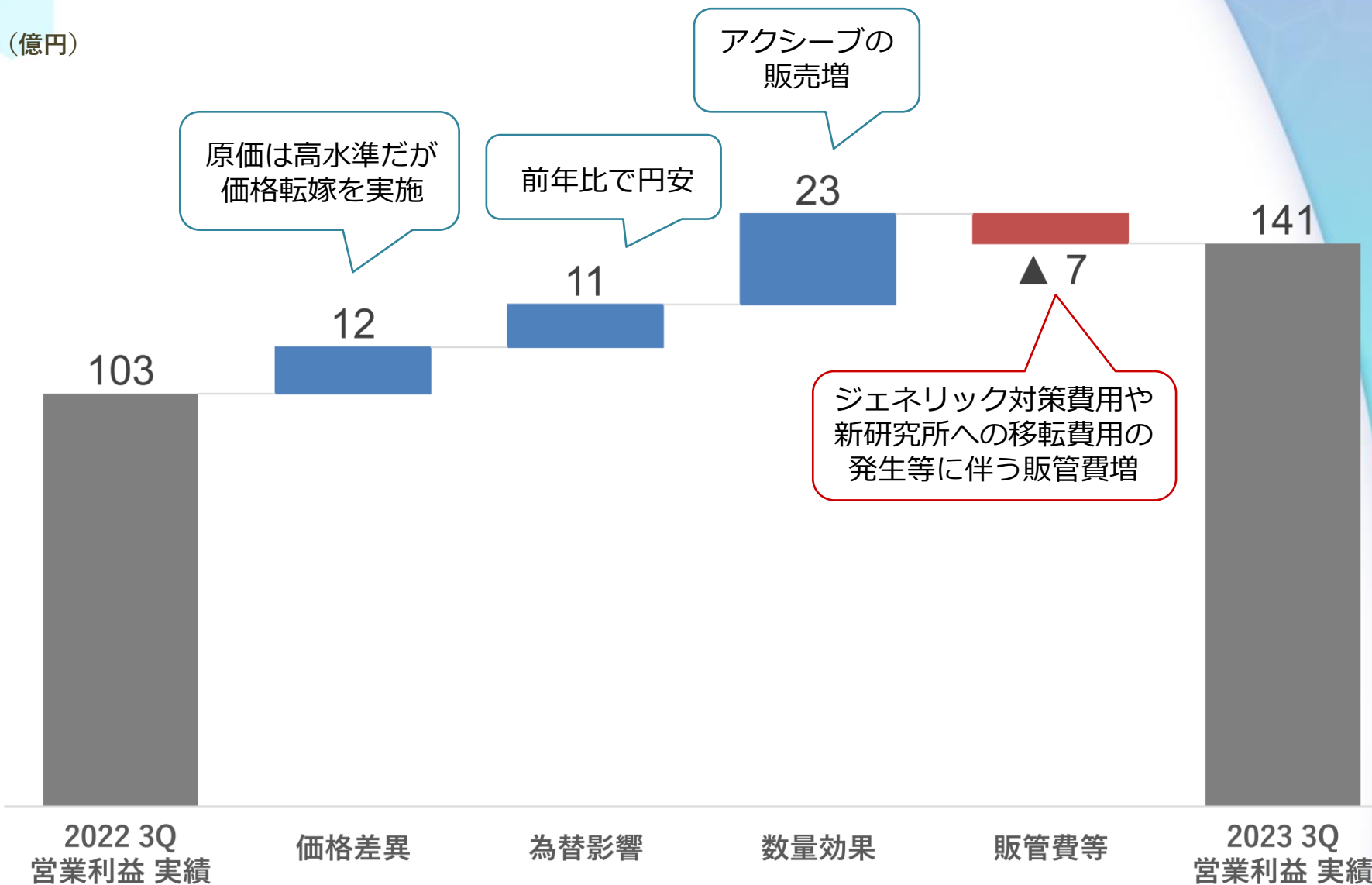


前年同期比 **+38**億円

- (+) アクシーブ 出荷増
- (+) 価格転嫁の実施
- (+) 円安による押し上げ
- (-) 原材料費の上昇
- (-) 販管費の増加

営業利益増減要因

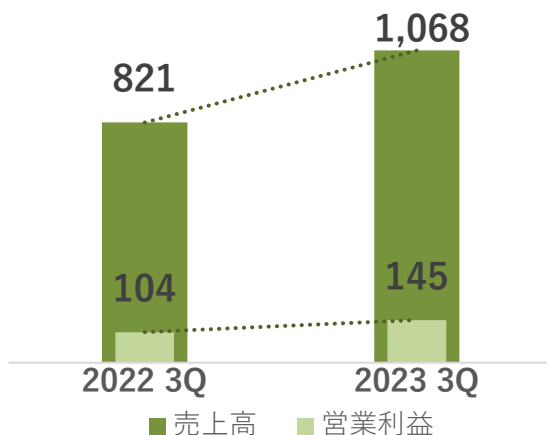
(億円)



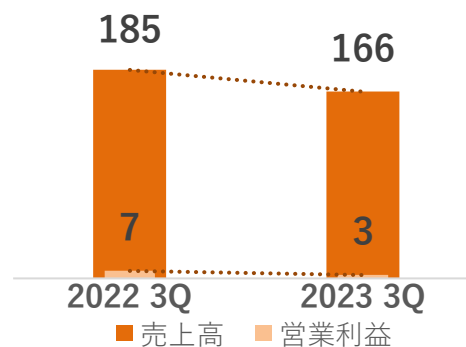
セグメント別

(億円)	2022 3Q 実績	2023 3Q 実績	前年比	増減率
売上高	1,063	1,304	+ 241	+ 23%
農薬及び農業関連	821	1,068	+ 246	+ 30%
化成品	185	166	△19	△10%
その他	57	70	+ 14	+ 24%
営業利益	103	141	+ 38	+ 36%
農薬及び農業関連	104	145	+ 42	+ 40%
化成品	7	3	△4	△54%
その他	5	6	+ 1	+ 18%
(調整額)	△12	△13	△1	-

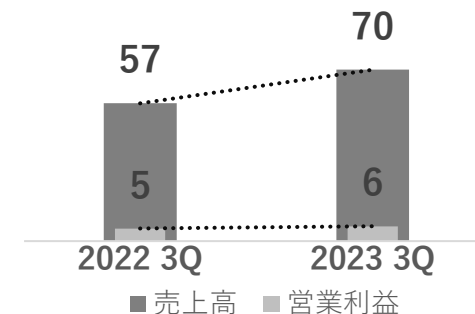
農薬及び農業関連



化成品



その他



農薬及び農業関連事業

国内

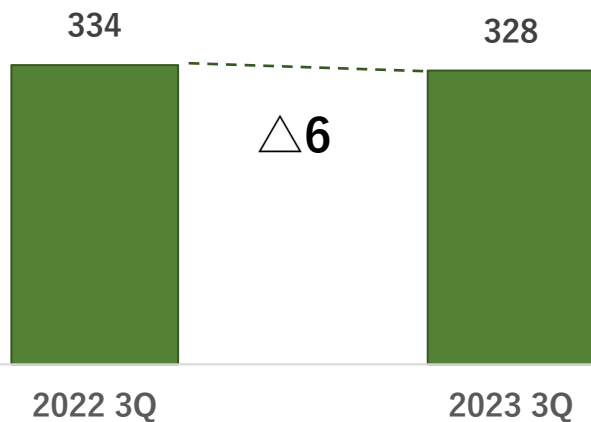
ディザルタを含む水稻箱処理剤、エフィーダが順調に推移
 流通での在庫圧縮により一部品目は出荷減

海外

北米向けアクシーブの出荷が大幅に増加
 前年同期比では値上げおよび円安傾向により売上を押し上げ

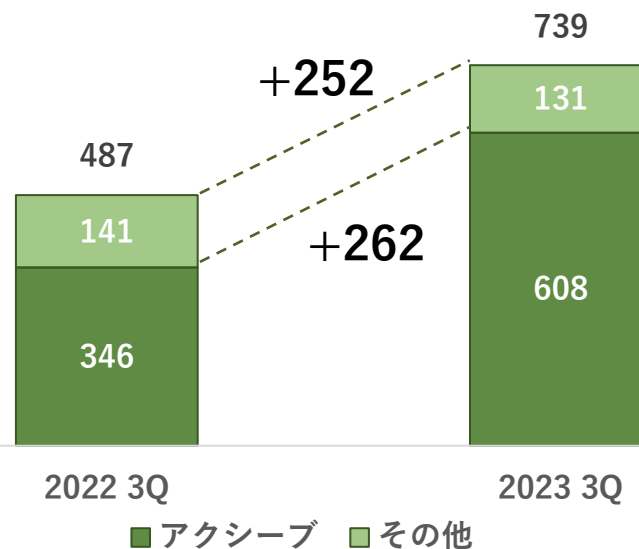
(億円)

国内売上高



(億円)

海外売上高



化成品事業

塩素化

中国・米国の景気減退により一部のクロロキシレン系製品の需要減

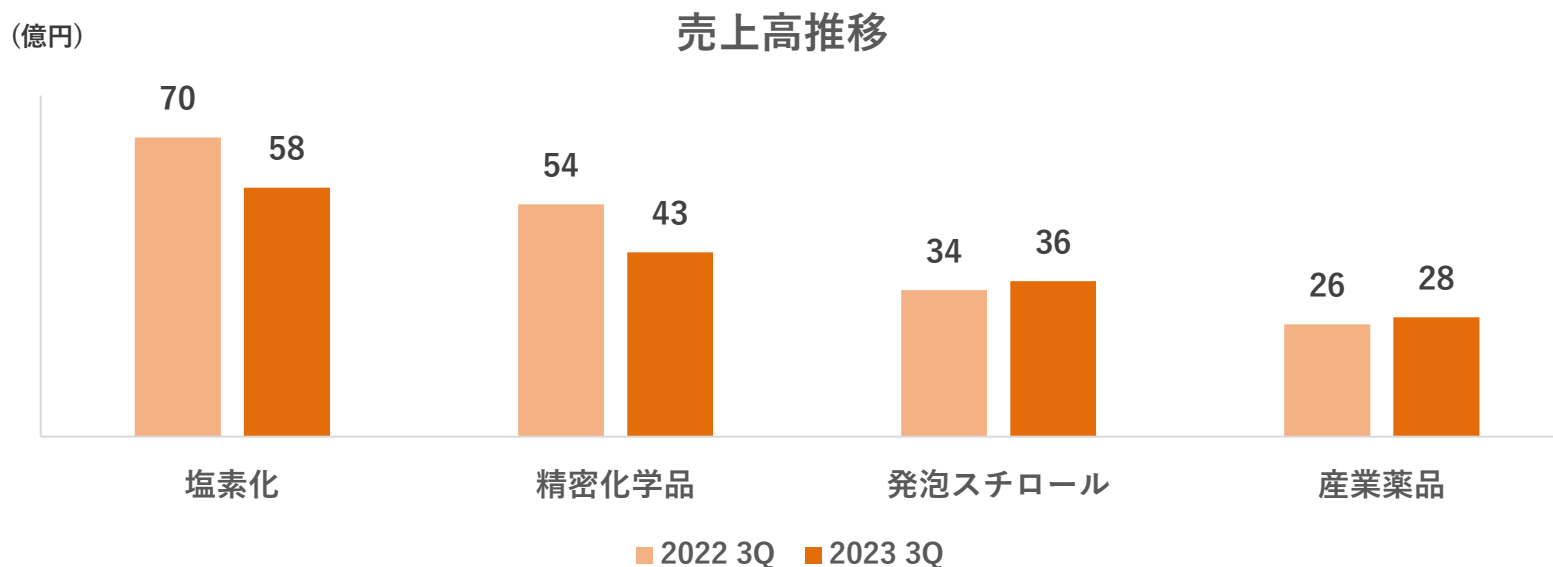
精密化学品

中国・米国の景気減退によりビスマレイミド類の需要減

半導体市場は一部分野を除いて市場全体で在庫調整

発泡スチロール・産業用薬品

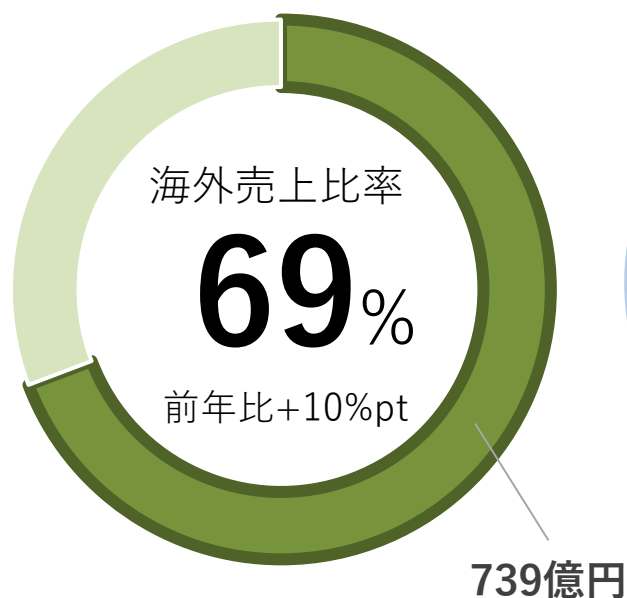
前年並みで推移



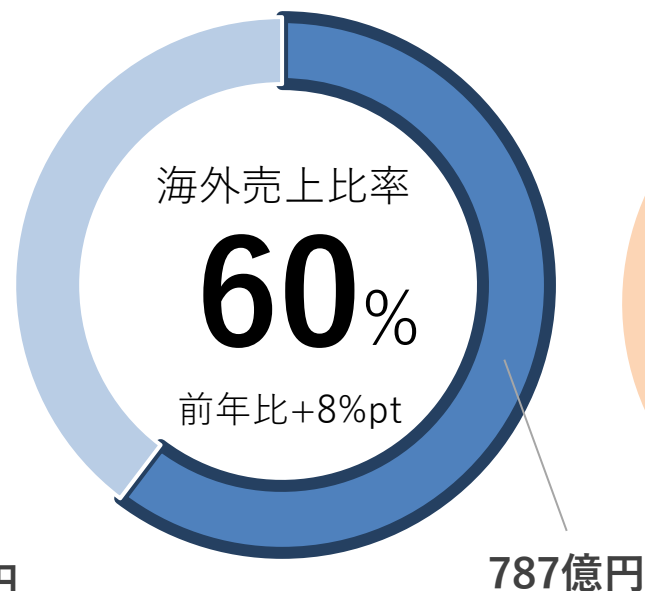
海外売上高・比率

2023年10月期 第3四半期 海外売上

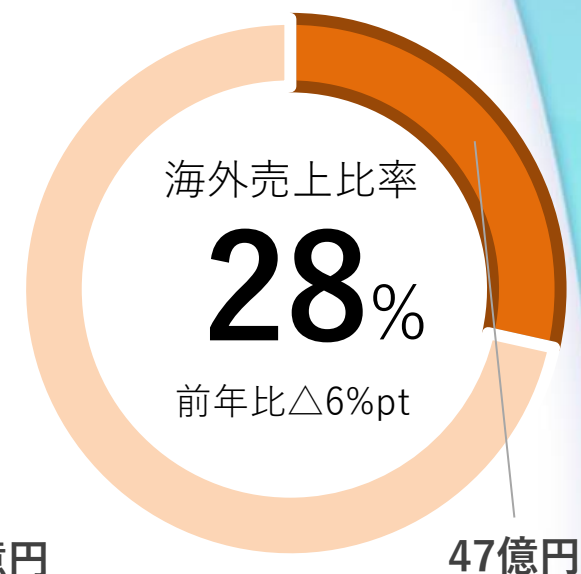
農薬及び農業関連



全体



化成品



2023年10月期 第3四半期 総括

事業全体

売上高	1,304 億円 (前年比 + 241億円)	✓ 原材料価格は依然として高水準であるものの価格転嫁を実施
営業利益	141 億円 (前年比 + 38億円)	✓ 前年よりも円安で推移し、売上・利益を押し上げ
経常利益	187 億円 (前年比 + 26億円)	✓ 為替差損を計上した一方、持分法投資利益が増加

農薬及び農業関連事業

売上高	1,068 億円 (前年比 + 246億円)	✓ 北米向けアクシーブ 販売好調 前年同期比 +262億円
営業利益	145 億円 (前年比 + 42億円)	✓ エフィーダ・ディザルタは販売好調だが、販売先の在庫調整の影響により国内向け農薬販売は前年並み

化成品事業

売上高	166 億円 (前年比△19億円)	✓ 中国・米国の景気減速によりビスマレイミド類および一部のクロロキシレン系化学品の出荷減
営業利益	3 億円 (前年比△4億円)	✓ 半導体市場での在庫調整による需要減

その他事業

売上高	70 億円 (前年比 + 14億円)	✓ 物流事業が堅調
営業利益	6 億円 (前年比 + 1億円)	✓ 建設事業が前期からの繰越工事の進捗により増収

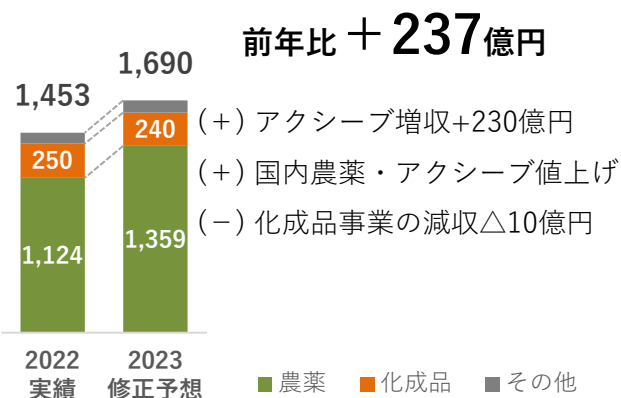
2023年10月期 通期見通し (前年比)

6月6日の業績予想から変更なし

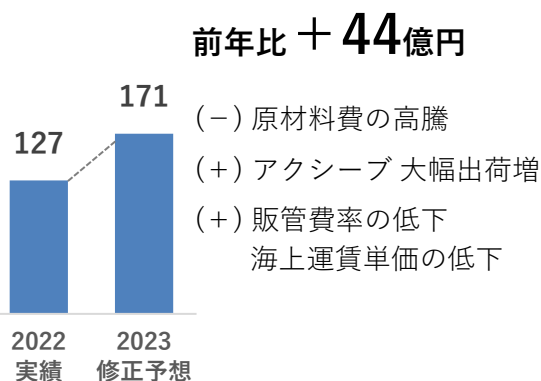
(億円)	2022 実績	2023 修正予想 (6/6発表)	前年比	増減率
売上高	1,453	1,690	+237	+16%
農薬及び農業関連	1,124	1,359	+235	+21%
化成品	250	240	△10	△4%
その他	79	90	+11	+14%
営業利益	127	171	+44	+35%
経常利益	236	215	△21	△9%
親会社株主に帰属する当期純利益	163	167	+4	+2%

参考：平均レート ¥/ドル=129 ¥/ドル=130
 ¥/ユーロ=135 ¥/ユーロ=140

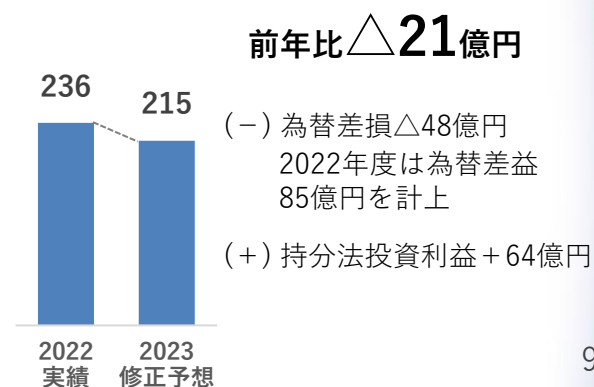
売上高



営業利益



経常利益



2023年10月期 通期見通し（上半期・下半期）

6月6日の業績予想から変更なし

事業の 季節性

国内向け農薬の大部分は4月までに出荷されることから**売上が上半期に偏る**が、販管費については、人件費などが毎四半期に同程度ずつ発生することに加え、期末には試験研究費の支払いが多いことから、**下半期の利益は上半期に比べ少なくなる**。

上半期

(億円)	当初予想 (12/14発表)	2023 2Q 実績	前年比	<増減要因>
売上高	924	954	+30	(+) アクシーブの出荷増・値上げによる増収 +35億円
営業利益	101	127	+26	(+) 原価が想定よりも下振れ
経常利益	124	135	+11	為替は当初予想・上半期ともに¥/\$=135で推移
親会社株主に帰属 する四半期純利益	90	102	+12	

下半期

(億円)	当初予想 (12/14発表)	修正予想 (6/6発表)	前年比	<増減要因>
売上高	755	736	△19	(+) アクシーブの出荷増による増収 +10億円
営業利益	44	44	+0	(+) 原価が想定よりも下振れ
経常利益	69	80	+11	(-) 受託製造の減収 △15億円
親会社株主に帰属 する四半期純利益	51	65	+14	(-) 販売先の在庫調整により国内農薬の出荷減 △12億円
				(-) 円高想定（当初予想¥/\$=135、修正予想¥/\$=130）

研究開発費・設備投資・減価償却費

12月14日の業績予想から変更なし

研究開発費

2022年度実績 **51**億円 → 2023年度計画 **59**億円

(増加要因) 研究開発部門の人員費増、研究開発関連の出張増

設備投資

2022年度実績 **96**億円 → 2023年度計画 **88**億円

(減少要因) 2022年度に着工した新研究所の建設費用の大部分を計上

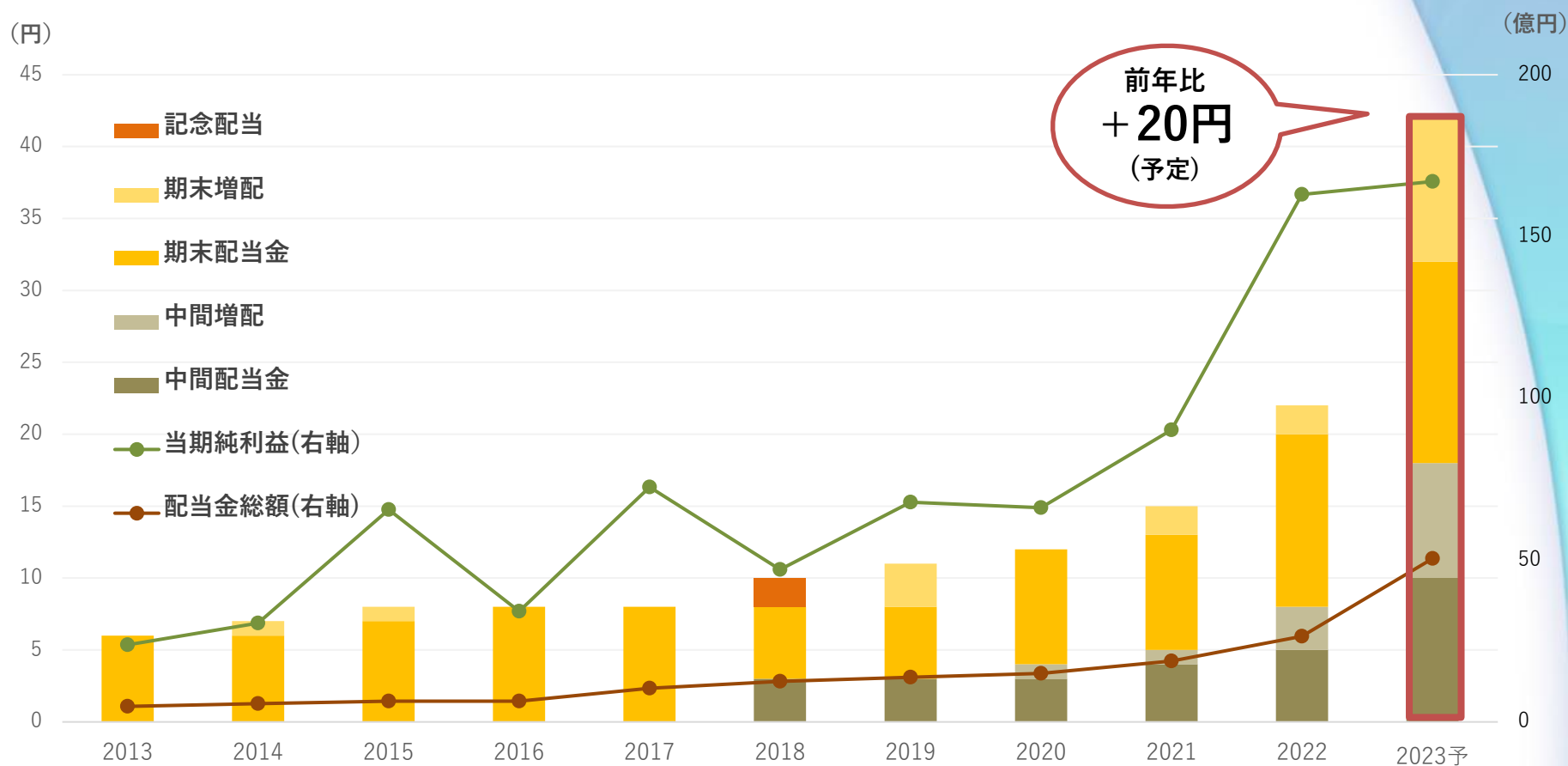
減価償却費

2022年度実績 **42**億円 → 2023年度計画 **47**億円

(増加要因) 化成品プラントの新設、老朽化設備の更新等に伴う増加

株主還元施策

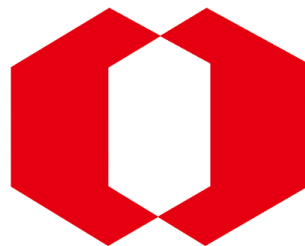
中間配当18円(前期実績から10円増配) + 期末配当24円(10円増配) = **年間配当42円(20円増配)予定**



次期中期経営計画において、**より株主の皆様が目線に立った株主還元と社内留保および財務健全性の維持に関する基本的な考え方**を開示予定

ご清聴ありがとうございました。

自然に学び 自然を守る



ワミカ

本資料に記載されている業績予想および将来の予想などに関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき、弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんこと、ご承知おきください。

弊社および弊社関連会社以外に関する情報は、公知の情報に依拠しており、情報の正確性などについて保証するものではありません。

＜お問い合わせ先＞
クミアイ化学工業株式会社
経営管理本部 経営企画部 企画課

弊社IRサイトもご覧ください <https://ir.kumiai-chem.co.jp/>